朝日新聞　新聞定価 朝夕刊月ぎめ 3,925円(本体価格 3,738円、消費税 187円)、1部売り(税込み)朝刊 150円、夕刊 50円　第3種郵便物認可

ストーカー被害 遠かったSOS

ネットでは「怖くてしょうがない」

愛知県小牧市で7月末、ストーカー被害にあっていた花塚彩乃さん（当時19）と母親（同43）が自宅で刺殺された事件で、殺人などの罪で起訴されたパチンコ店社員の井馬享平被告（26）によるストーカー行為は6月ごろから深刻化していた。周りは警察への相談を勧めたが、彩乃さんも周りも相談しないうちに悲劇に発展した。被害にあったとき、どう対処すれば防げるのか。

花塚 彩乃

今日までいろんなことあってみんなに話聞いてもらって迷惑かけちゃった人もおってほんとごめんなさいがいっぱい。今日全部解決してくる！殺されるの覚悟で行ってくるから。ほんとわ怖くてしょうがない！いつも逃げるけど今回わもう逃げれんからね。もっといろんな人に迷惑かかる前に解決しなほんとやばい。知ってる人わ無事を祈ってて？うん。

シェア・6月15日 11:58（携帯より）

小牧の母娘殺害

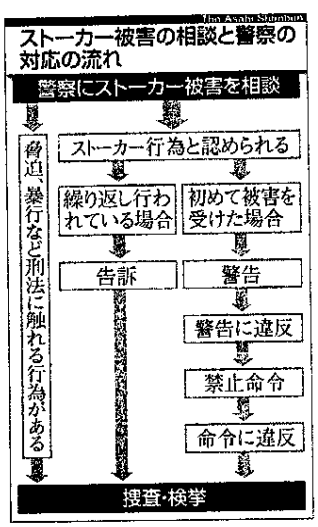
捜査関係者によると、同じ店で働いていた彩乃さんと井馬被告は今年初めごろから交際を始めた。5月に関係がこじれた後、井馬被告が復縁を迫るメールを送りつけるようになった。

6月になると、彩乃さんを待ち伏せたり、手を引っ張ったりする行為を繰り返すようになった。6月中旬、彩乃さんは交流サイト「フェイスブック」の自分のページに、井馬被告にストーカー行為をやめるよう、きっぱり言い渡す決意ととれる投稿をした＝写真。

7月、彩乃さんが車で自宅アパートの駐車場に戻ったら、突然、井馬被告が乗り込んできた。井馬被告は復縁を迫りながらナイフを取り出し、「お前を殺して俺も死ぬ」と叫んだという。

その後、彩乃さんは7月19日に店長に相談。店長が被告にいやがらせをやめるよう命じると、応じたという。11日後に事件が起きるまで被害はなくなった。

店長は彩乃さんに警察に相談するよう勧めた。彩乃さんは小さな声で「はい」とうなずいたが、結局相談することはなかった。



一度おさまった後 再燃するケースも

警察庁によると、昨年中に全国で届け出があったストーカー被害は1万4618件。このうち61%は元夫婦や過去に交際関係にあった人との間で起きたものだった。警察庁の委託でストーカーの危険度を測るチェックリストを作った犯罪精神医学研究機構の福井裕輝医師（犯罪精神医学）は「過去の交際関係がきっかけでストーカー行為に及ぶ人は自己愛が強く、自分が相手に受け入れてもらえると思い込む傾向にある」と言う。

いったん被害が収まっても、加害者側に不満がくすぶっていて、再燃するケースも少なくない。「相手に拒まれると、暴力を振るうおそれがあり、暴力的な言葉があっただけで警察に相談すべきだ」と指摘する。

小牧の事件の捜査にかかわった県警関係者は「被害者の周りの人もストーカー行為に気づいていたのだから、警察に相談してくれれば結果は違ったかもしれない」と話す。

警察は被害の相談があると、ストーカー規制法に基づいて加害者に「警告」する＝図。警察官は加害者に会い、「行為を繰り返せば逮捕することもある」と言い渡している。それでもやまなければ、被害者に近づくことを禁じる「禁止命令」を出したり、逮捕したりすることになる。

昨年中の「警告」は全国で12888件で、過去5年間は13000件前後で推移している。一方、積極的に警告している愛知県警では216件と3年前から倍増した。県警幹部は「警察が介入すれば被害がやむことが多い。早い段階で警告することが大切だ」と話す。

ただ、元交際相手から被害を受けても「穏便に済ませたい」という心理が働いて、警察へ相談をためらう人も少なくないという。この幹部は「生命に危険が及ぶことを想定して、相手を拒絶する覚悟を持ってほしい」と呼びかける。（久保田一道）

■ストーカー被害にあわないためのポイント（愛知県警まとめ）

- あいまいな態度をとらない。嫌なら嫌だとはっきりと拒否の姿勢を伝える。感情的にならず、冷静な対応を心がける
- 自分だけで解決しようと思わない。家族や警察に相談する。
- 「これぐらいなら大丈夫」と思わず、危険を感じたら早めに助けを求める。被害を放置すると、行為がエスカレートする場合がある。
- ドアや窓には二重錠やスコープをつける。不審な訪問者には、チェーン越しで対応する。電話やメールが繰り返されるときは、電話会社にも相談する。

☆愛知県警の相談窓口は「ストーカー110番」（052・961・0888）

早い引き離しや保護対策が必要

ストーカーやDV問題に詳しいお茶の水女子大の能民江名誉教授（ジェンダー法学）の話　深刻なストーカー被害にあっている女性は、相手からの報復を恐れて、警察への相談をためらう心理が働く。被害者の安全を保つことが大切だが、夫婦間の暴力を対象としたDV（ドメスティック・バイオレンス）防止法ではシェルター（緊急避難所）への一時保護などの対策が明記されているのに比べ、ストーカー規制法にはこうした規定がない。ストーカー被害者を加害者から迅速に引き離し、保護する対策を整えるべきだ。

父殺害容疑、再逮捕へ

女児監禁容疑者「邪魔になるので」

愛知県警

名古屋市中川区で3日、小学1年の女児（7）が車に連れ込まれ、その後、横ばいになっていた父親の正和さん（当時66）の首を絞めて殺そうとしたが抵抗されたため、自宅にあった木刀で正和さんの頭を何度も殴って殺害した疑いがある。

水島容疑者は「学生の頃から小さい女の子に興味があった。小さい子ならだれでもよかった」と供述しているという。

-スポット

で開けた穴があり、この穴に「矢」と呼ばれる工具を差し込んで石を割ったため「矢穴石」と呼ばれている。

戦国武将の加藤清正が名古屋城天守閣の石垣に篠島の石を使ったとの言い伝えがあり、篠島には大小約3百の矢穴石が残っている。今月中旬、カーフェリーとトラックで名古屋城まで運ばれた。

西之丸広場で3カ月間展示された後、加藤清正像の横に安置される予定だ。

（高原弘士郎撮影）